

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 5 日 (2020.11.5)

【公開番号】特開 2020-22543 (P2020-22543A)

【公開日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【年通号数】公開・登録公報 2020-006

【出願番号】特願 2018-147361 (P2018-147361)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 15 日 (2020.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の操作を検出可能な第 1 検出手段及び第 2 検出手段と、

所定の画像を表示可能な表示手段と、

演出中に前記第 1 検出手段で操作を検出可能な状況が発生可能であり、当該状況発生後、前記第 1 検出手段で操作が検出された場合には前記表示手段に表示されている演出内容が更新され得る操作演出を制御可能な操作演出制御手段と、

前記第 2 検出手段で操作が検出された場合に演出に関する設定情報を変更可能な変更手段と、を備え、

前記変更手段は、前記操作演出中で且つ前記第 1 検出手段で操作を検出可能な状況において、前記第 2 検出手段で操作が検出された場合には前記演出に関する設定情報を変更可能であり、

前記表示手段は、前記操作演出中で且つ前記第 1 検出手段で操作を検出可能な状況において前記第 2 検出手段で操作が検出された場合に、前記操作演出の画像と、前記演出に関する設定情報の変更に関する画像とにおいて少なくとも一部が互いに重畳する態様で表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、操作演出の発生時に演出態様の変更に係る操作ができないため、不便であった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明は上記課題を解決するためになされたものであり、本発明の目的は、操作演出の発生時にも演出態様の変更を可能にし、利便性を高めることが可能な遊技機を提供することである。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 1

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 1 】

遊技者の操作を検出可能な第 1 検出手段（例えば、後述の「ボタン A」）及び第 2 検出手段（例えば、後述のタッチパネル）と、

所定の画像を表示可能な表示手段（例えば、後述の表示装置 1 1 及びサブ表示装置 1 8）と、

演出中に前記第 1 検出手段で操作を検出可能な状況が発生可能であり、当該状況発生後、前記第 1 検出手段で操作が検出された場合には前記表示手段に表示されている演出内容が更新され得る操作演出（例えば、後述の「ボタン押下演出」）を制御可能な操作演出制御手段と、

前記第 2 検出手段で操作が検出された場合に演出に関する設定情報を変更可能な変更手段と、を備え、

前記変更手段は、前記操作演出中で且つ前記第 1 検出手段で操作を検出可能な状況においても、前記第 2 検出手段で操作が検出された場合には前記演出に関する設定情報を変更可能であり、

前記表示手段は、前記操作演出中で且つ前記第 1 検出手段で操作を検出可能な状況において前記第 2 検出手段で操作が検出された場合に、前記操作演出の画像と、前記演出に関する設定情報の変更に関する画像とにおいて少なくとも一部が互いに重畳する態様で表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 2 】

上記構成の本発明の遊技機によれば、利便性を高めることができる。